

共生・公正・創造



# ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合  
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号  
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290  
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

## “テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』 **連載第19回**

# コウノトリが行った捜査妨害一部始終！

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。（JR連合民主化闘争情報号外より一部抜粋）

< 週刊現代2006年11月27日発売号 >

### 革マル派のスパイとなった大物警察官僚、JR東日本初代監査役、柴田善憲！

かつて公安捜査の神様とまでいわれた柴田氏（JR東日本初代監査役・元警察庁警備局長）が『JR革マル派のガードマン』に転向していたことを知った警察は、柴田氏の身边を徹底的に洗う。その結果、過去のJR革マル派に関する捜査情報がすべて柴田氏を通じJR東日本側に筒抜けになっていたという衝撃の事実が判明したのだ。

「JR東日本監査役として約8年間、その子会社の『ジェイアール東日本企画』会長、顧問としてさらに約8年間にわたって『JR革マル派のガードマン』として君臨した柴田氏はその間、莫大な交際費を使って、後輩の警察官僚や公安部幹部を接待。警察庁、警視庁の隅々まで、スパイ網を張り巡らせた。それと同時に、息のかかった警察OBを次々とJR東日本に天下りさせ、彼らにも、後輩の現役捜査員から情報を取らせ、JR東労組やJR東日本に対する捜査を押さえ込ませるシステムを構築したんだ」「公安部では浦和事件の捜査が、事前に柴田氏に漏れれば必ず潰されると判断。内部でも秘密保持を徹底した。02年11月の東労組に対する強制捜査は、柴田氏にとっては寝耳に水。当日になって知った柴田氏は仰天したそうだ」（警察庁関係者）

「柴田さんは家宅捜索に入った午前10時には本社に来ていました。その後警視庁に出向き、当時の石川警視総監に直談判した。『警視庁のトップは、これ以上東労組に波及させないと謝罪していた』『今回の事件は、警視庁上層部に報告しないで暴走した奴がいる。こんな事件、私が事前に知っていたら簡単に潰せた』と話していました」（JR東日本関係者）

「松崎は、公安部が東労組本部に家宅捜索に入ったことを知って激怒。『柴田の野郎、年間2000万円もの交際費を使っておきながら、クソの役にも立たなかった！』と話していた」（東労組元幹部）

「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実 革マル派の『スパイ』になった大物警察官僚」と題するこの記事は、革マル派からコードネーム「コウノトリ」と呼ばれた大物警察官僚が行った革マル派捜査に対する妨害の一部始終を暴いています。

## 失われた15年をつくったのは、JR東日本幹部だ！